

再度入札及び不落札等の場合の取扱い

○郵便等による入札が含まれていない場合、
直ちに、再度入札を行う。

【総合評価競争入札心得第9条】

○郵便等による入札が含まれている場合、再度入札の
執行日時等を決定し、入札者に通知。（再度入札にお
いて、再び郵便等による入札を行うのに必要な相当の
期間を設ける必要があるため。）

【物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める要領第7第
2項】

この場合、企画提案書も新たに提出することとし、当初の入札の際
に提出したものと異なる内容のものを提出することができるが、当
初の入札の際に提出した企画提案書を提出したい旨を申し出た場
合は既に提出があったものとして取り扱う。

◎再度入札実施した結果

予定価格の制限の範囲内の価格を
もって入札をした者のうち、落札者
決定基準により価格その他の条件
が最も有利なものをもって入札し
た者を落札者とする。

落札者決定

①予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札をした者が
いない場合
②再度入札に応札者がいない場合
③予定価格の範囲内である価格をもって申し込みをした入
札者全員の入札価格及び企画提案書を評価した結果当該入
札者全員が最低限の要求水準を満たしていないことにより
落札者がいない場合

入札者がいなかったものとみなし、地方自治法施行令第
167 条の2第1項第8号及び総合評価競争入札取扱要領
（平成15年局総第35号）第4の2の規定により、最低価
格の入札者から見積書及び企画提案書を徴し、随意契約を
行う。